

# 小中9年間を見通した学校図書館教育 ～計画的・意図的に展開する読書活動を通して～

広島県 三次市立君田中学校

## 基本データ

所在地	三次市君田町東入君 10361-2
児童生徒数	29人
教職員数	11人
蔵書数	6,130冊
年間貸出冊数	約480冊

## テーマ・活動のねらい等

【テーマ】計画的・組織的な運営・活用

【活動のねらい】

- (1) 読書スピーチ  
本を読むことで自分の考えを広げたり深めたりした上で、他の生徒のスピーチを聴いて、本への興味・関心を高め、読書意欲を向上させたり、聞き手を意識して話す能力や話を聞く能力を高めたりする。
- (2) 小中合同読書集会  
暗唱や読み語り等によって、表現力をつける。また、異年齢交流を通して、コミュニケーション力をつける。
- (3) ブックトーク  
小中9年間の読書活動を振り返るとともに、将来へ向けて自己の生き方を考える契機にする。  
小学校第6学年児童及び中学校第1・2学年生徒に第3学年生徒のブックトークを聴かせることで読書の意義について再認識させる。

## 取組・活動の概要

- 君田中学校区小中一貫教育オリジナルカリキュラムに基づいて、学校図書館利用を促し、小中9年間を見通した取組を行っている。
- 読書ノート（小学校では読書通帳）を書かせ、小中9年間の読書記録を作成させ、読書スピーチやブックトークに利用している。
- 読書の記録を残すことによって、本の内容を記憶にとどめさせ、読みっぱなしではなく、「立ち止まる」「記録する」「書き留める」という過程を通して「考える読書」への進化をねらう。

### (1) 読書スピーチ

- 火曜日の暮会に読書スピーチの時間を設けている。
- 各学年で出席番号順に自分が読んだ一冊の本についてあらすじや感想などをまとめて話す。
- 話し手は、聞き手が感想を書いた付箋を受け取り、読書ノートに貼る。



読書スピーチ

読書ノートにまとめた内容を読書スピーチで発表

### (2) 小中合同読書集会

- 小学校第3・4学年児童と中学校第1学年生徒が読み語りによる交流を行う。
- 事前に三次市立図書館の司書から読み語りのコツや本の選び方等の説明、実技指導を受ける。



小中合同読書集会

公立図書館司書の方からの指導・講話

### (3) ブックトーク

- 年度当初に三次市立図書館の司書を招聘して、ブックトークの講習、実技指導を受ける。
- 読書のテーマ、これから読もうとする本の書名・著者名・出版社名を記入し、アドバイスをいただく。
- 中学校第3学年生徒は一つのテーマを決め、読書計画シートを作成し、年間を通して読書活動を進める。
- 全校生徒及び小学校第6学年児童を聞き手とし、そのテーマに沿って数冊の本を順序よく紹介する。聞き手は感想を付箋に書き、発表者へ手渡す。



ブックトークの場面

### 取組・活動の工夫や特徴

#### (1) 読書スピーチ

- 読書ノートの記入の仕方を生徒に示した上で、帯活動の朝読書をはじめ、日頃から読んでいる本について読書ノートにまとめさせる。
- 聞き手の感想を付箋に記入させ、発表者の読書ノートに貼らせることで、自己効力感を高める。

#### (2) 小中合同読書集会

- 小中合同読書集会を君田中学校区小中一貫教育オリジナルカリキュラムに位置付け、系統的に取り組んでいる。
- 小学生への読み語りに際して、小学生時に自らが受けた読み語りを想起させ、小学校第3・4学年児童にとって聞きやすく分かりやすく伝えるスキルと内容について吟味させている。

### (3) ブックトーク

- 事前に公立図書館司書の方からブックトークのやり方の指導を受け、ブックトーク実施後には講評を受けている。
- さらに生徒が読書計画を立てやすくするため、生徒個々のテーマを公立図書館に伝え、お薦め本の団体貸し出しを受けている。
- 読書活動の広がりや小中の接続をより意識して、昨年度から小学校第6学年児童を参加させている。

### 取組・活動の成果や今後の展望

#### (1) 読書スピーチ

- 生徒間でお薦めの本の紹介をすることで全生徒の読書量が増えている。
- あらすじの紹介が多いので、小学校の取組を踏まえながら、今後は自分の生活や経験に照らしたスピーチの内容を考えさせる必要がある。

#### (2) 小中合同読書集会

- テーマを決めて関連する本を選び、本と本のつながりを説明するための文章を考えたり、聞き手を意識した本の読み語りをしたりすることで、表現力が高まった。
- 異年齢交流で中学校第1学年生徒の自己効力感を高めることができている。中学校第1学年生徒は昨年度まで小学校の最高学年としてリーダーシップを発揮してきたが、中学生としてさらに成長した姿を小学生に見せることができている。

#### (3) ブックトーク

- 自分が決めたテーマに沿って計画的に学校図書館や公立図書館で自分の興味・関心のある本を探すことに加え、「自分が読んだ本について人に伝える」という目的が明確になることで、読書習慣を身に付けることにつながっている。
- 今後は、読書スピーチの際に自分の体験や日常生活を関連付けながら本を紹介するように働きかけることで、ブックトークをより充実した読書活動の集大成として位置付けることができると思われる。